

症例報告 9

要旨

ストーマ周囲の皮膚の合併症の発生率は高く、ストーマ造設患者の半数以上が生涯のうちにストーマ周囲の皮膚の問題を経験しています¹。合併症の種類、原因、それらの治療方法は、それぞれ大きく異なります。医療従事者は、ストーマ周囲の皮膚の合併症の管理に多くの時間と労力を費やしています。患者にとって、ストーマ周囲の皮膚の痛みは、生活の質に大きな影響を与えかねません。ストーマ周囲の皮膚の合併症は、ストーマ造設後の最も一般的な術後合併症です²。この症例報告で、そのような症例の 1 つをご報告します。

目的

患者に適した面板を選択し、ストーマ周囲に面板が適切に密着することで、ストーマ周囲の皮膚の健康を維持すること。

患者の概要

患者は 64 歳の女性で、自宅で一人暮らしをしており、ストーマケアを自分で行っていますが、週に 2 回介護者が訪問して買い物を手伝い、通院に付き添っています。患者はストーマケア専門看護師に連絡して予約を取り、「ストーマ装具が不安定で、ストーマが痛い」と訴えました。

患者は、数か月にわたり膣分泌物と直腸分泌物があり、直腸瘻と診断されました。その後、超低位前方切除術と手縫いによる結腸肛門吻合術を受け、ループ式回腸ストーマ造設を行いました。

最初の入院中は毎日、ストーマケアの評価と指導を受けました。また、回腸ストーマ造設のケアに関する DVD や教材も利用しました。患者は 1 か月分のストーマ製品を受け取って退院し、自宅でさらに指導とサポートを受けるために地域の保険診療ケアサービスによるフォローアップを紹介されました。また、ストーマ用品を注文するための関連情報も受け取りました。

問題

退院前後に集中的に指導と退院後のフォローアップについての説明がなされましたが、そのとき使用していたストーマ装具が皮膚に接着しなくなり、皮膚に問題が発生しました。予約した日に現れた患者はストーマ装具を装着せず、腹部にタオルを当てて、排泄物を押さえていました。診断すると、ストーマの粘膜はピンク色で正常な状態であり、浮腫や脱落は見られませんでした。しかし、ストーマの高さは理想的でなく、皮膚からわずか 1 cm でした。回腸ストーマに理想的なストーマの高さは 2 cm 以上とされていますが、患者のストーマは理想的ではなく、皮膚からわずか 1 cm でした。

ストーマ周囲の皮膚は、広範囲にびらんがあり、炎症を起こし、脆弱になり、皮膚の表面は浸軟していました。この状態が明らかに患者に不快感をもたらしていました（写真 1 と 2）。

裏に続く



写真1 ストーマ周囲の皮膚に炎症があり皮膚の表面は湿っている。



写真2 炎症のあるストーマ周囲の表面の拡大図。

セラプラス™

*リモイス技術使用

著者および略歴:

Desiree Davies, STN

ストーマ治療専門看護師

Sir Charles Gairdner Hospital

ウェスタン オーストラリア州、オーストラリア

症例報告 9

ケアの実際

患者に、評価対象の新しい面板について説明し、この評価に参加するかどうか尋ねました。患者は同意し、二品系硬性凸面装具「ニューイメージ セラプラス凸面」「ニューイメージ ロックンロール」を受け取りました。患者は新しい製品の使用方法について指導を受け、装具交換するための追加の消耗品を受け取りました。追加のアクセサリは必要ありませんでした。

結果

2週間以内に、ストーマ周囲の皮膚の炎症は25%未満になりました(写真3と4)。痛みや漏れがなく、皮膚の状態が大幅に改善されたため、患者はこの結果に非常に満足していました。面板の交換は3日ごとになりました。患者にとって、装着期間のこの変化は大きなものでした。

結論

ストーマ患者の多くは、ストーマ周囲皮膚障害を経験し、ストーマを造設したら仕方のないこととしてそれらの問題を受け入れています⁴。幸いにも、この患者は助けを求め、問題は解決しました。皮膚刺激を軽減する手段として、ストーマの周囲に適切に密着させ、漏れを防ぐだけでは、ストーマ周囲の皮膚を健康な状態に保つのに十分ではない場合があります。面板の配合成分は、ストーマ周囲の皮膚の健康状態にも影響を及ぼします。面板の配合成分と密着性の適切な組み合わせを見つけることは、ストーマ周囲の皮膚を健康な状態に維持するために不可欠です。

引用情報:

1. Richbourg L, Thorpe J, Rapp C. Difficulties experienced by the ostomate after hospital discharge. J Wound Ostomy Continence Nurs. 34(1):70. 2007.
2. Meisner S, Lehur P-A, Moran B, Martins L, Jemec GBE. Peristomal Skin Complications Are Common, Expensive, and Difficult to Manage: A Population Based Cost Modeling Study. PLoS ONE. 2012; 7(5):e37813.
3. Stricker, L., Hocevar, B., & Asburn, J. (2016). Fecal and urinary stoma construction. In J.E. Carmel, J.C. Colwell, & M.T. Goldberg (Eds.), *WOCN core curriculum ostomy management* (pp. 90-97). Philadelphia, PA: Wolters Kluwer.
4. Whiteley IA and Sinclair G A Review of Peristomal Skin Complications Following the Formation of an Ileostomy, Colectomy or Ileal Conduit. World council of Enterostomal Therapists Journal, 2010; 30(3) p. 23-29.

この症例報告は、特定の患者に「ニューイメージ セラプラス凸面」「ニューイメージ ロックンロール」を使用した場合の一人の看護師の経験を示すものであり、すべての患者に適応となるとは限りません。



*リモイスはアルケア株式会社が所有する技術です。

使用する前に、使用目的、禁忌、警告、注意事項、および使用方法について使用説明書を必ずお読みください。



すべての製品にCEマークが付いているわけではありません。

Hollister のロゴおよびセラプラスはホルスター社の商標です。その他すべての商標および著作権は、それぞれの所有者に帰属します。© 2016 Hollister Incorporated

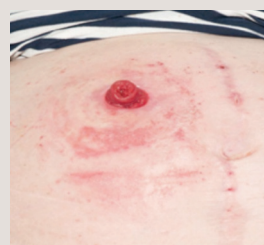


写真3 セラプラスへの変更後に見られた有意な改善。



写真4 ストーマ周囲の皮膚の改善。



Hollister Incorporated

2000 Hollister Drive

Libertyville, Illinois 60048 USA

1.800.323.4060

www.hollister.com